

第2回竜王町総合計画審議会 会議録

日時：令和2年10月28日（水）19：00～21：30

場所：竜王町防災センター2階大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 報 告

- （1）町民意識調査（アンケート調査）の結果について
- （2）竜王町中学生アンケート調査の結果について
- （3）第五次竜王町総合計画の検証について
- （4）竜王町コンパクトシティ化構想等について

4 グループワーク

テーマ「10年後の竜王町の将来像について」

5 その他

6 閉 会

【出席委員】

市岡、井手、勝見、瀧川、谷、谷口、谷村、西村悠哉、西村三代司、松瀬、吉田、石橋、北村、森島

【欠席委員】

竹井

※敬称略、順不同

1 開会

事務局：定刻となりましたので、第2回審議会を始めます。新型コロナウイルス感染症の影響等により、審議会を開催できておりませんでした。今年度中に総合計画を策定したいと思いますのでご協力をお願いします。町長から開会の挨拶をお願いします。

2 挨拶

町長：こんばんは。寒くなってきた中、またお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症については町民の皆様の対応もあり、感染者は町内では1名だけとなっており、すでに感染された方も退院しています。今後

も無償でのインフルエンザ予防接種など、意見をいただきながら対応していきます。本計画については、3月末までに策定するため、大変タイトなスケジュールで無理を申し上げますが、よろしくお願いします。本日はアンケートや庁内検証の報告、将来像についての話し合いをしていただきます。ポストコロナ社会、様々な物事のデジタル化・オンライン化などの変化に対応しながら、明るく力強いまちづくりにより、コンパクトシティ化構想を進めていきたいと考えています。中心核の整備と住宅開発、32集落が発展するように進めていきます。公共交通についても予約制乗合ワゴン「チョイソコリゅうおう」をスタートしており、さらに住みやすいまちにしていきたいと考えています。今後10年間の総合計画は、まちづくりのバイブル、シンプルな中身として、職員にはしっかりと仕事をしてもらい、町民参画も進めていきたいと思ひます。ぜひよろしくお願いします。

事務局：西村会長から挨拶をお願いします。

会長：こんばんは。昨年の開催から約1年経ちました。3月末までの策定ということで、日はありませんが、協力をいただいて進めていきたいと思ひます。アンケート結果の報告もありますが、コンパクトシティ化構想、「チョイソコリゅうおう」など、まちづくりも動きつつあります。コロナ後の社会は変わりつつありますが、ご意見よろしくお願いします。

事務局：資料として委員名簿をつけています。自治会連絡協議会会長が交代しましたので、竹井計委員にお願いしています。本日出席予定でしたが他の用務により欠席となっています。また、庁内では市田総務主監が就任しています。

総務主監：前主監が県に戻りましたので、4月からお世話になっています。よろしくお願いします。

事務局：次第に基づき進めていきます。後半はグループワークで話し合いをいただきます。

3 報告

事務局：→資料に基づき報告

事務局：ただいまの説明に対して質問はありませんか。

委員：ダイハツ竜の子ファミリー車提供制度について、4月に転入してくる方は対象になるのですか。

事務局：子どもが生まれた時点で6か月以上町内に住んでいる人が対象となります。同居または近居で2人目の子どもを出産した人にはタントまたはムーヴキャンバスを、3人目以上の場合には、それらまたはロッキーを3年間無償で提供するものです。リ

ース契約を結んでいただき3年間使ってもらえます。リース代はダイハツ工業(株)に支払ってもらいます。子育て家庭にとっては良い制度となります。

委 員：税金はどうなるのですか。

事 務 局：リース契約となりますので、ダイハツ工業(株)が払います。本人はガソリン代と任意保険のみの負担です。竜王町だからできる制度だと思います。

委 員：防災アプリについては安否確認もできるのですか。

事 務 局：住民に対しては一方向の情報提供となっていますが、自治会長、民生委員は双方向で利用できるのです。自治会長から情報を提供いただく予定です。

委 員：スマホを持っていない自治会長もいるのではないですか。

事 務 局：自治会長にはタブレットを支給します。

委 員：アンケート調査はコロナ前に実施したものです。首都圏からの転出者も増加するなど社会が変わりつつあり、大阪まで仕事で出ていなくてもよい社会になるなど、流れが変わってきているのではないのでしょうか。

事 務 局：ウィズコロナ、アフターコロナを前提として、オンライン化も進み、5G、IT化も含めた次の10年を考える必要があります。

町 長：アンケートは1～2月に実施し、ちょうどコロナが始まったばかりの時でしたので、今の状況を反映できていないかもしれません。以前のように満員電車での通勤などからスタイルは変わっていくでしょう。ワクチン開発が進めばわかりませんが、10年に1回は新しいウイルスが出てくるなど、10年先は読みづらいです。

委 員：中学生アンケートの将来就きたい仕事について、農業は5%位となっています。10年後の農業は大丈夫でしょうか。果物や米もあるなど、魅力を表現して伝えていくことが必要だと思います。法人化やリタイアした人で農業を支えていくなど、何か変えていかないといけないと思います。

町 長：問題意識は一緒です。特に米について、土地を持っている人も集落営農に土地を貸しています。国も大規模化を進めています。農家とも10年後、20年後の農業について別途協議をしはじめているところです。昔はほとんど農家という時代だったが、兼業農家の時代があり、今は集落営農に集約されています。子どもたちは生まれ育った竜王のことしか知らない中での判断だと思います。想いを大切にすることも必

要です。

委員：中学生は5割が「住みたい」となっているが、高校、大学と減っていくのではないのでしょうか。自分の頃は地元就職したら地元に残っていたが、今は異動してしまう。残念なのは10年後すばらしいまちになるということが伝わっていないことです。また、町内に家が建てられないため、竜王町に住む場所がない。

町長：長男は農地でも農家住宅を建てられるが、次男では住宅地にしか建てられません。制度改革、規制緩和も必要ですが、コンパクトシティ化構想では小学校の跡地に住宅地を作っていく計画となっており、できることをやっていきます。仕事の仕方も変わってきており、竜王町に住みながら都市部の仕事をすることもできるかもしれません。

委員：中学生の進路について、高校も大学も町内にはありません。起業家を育てるまちとして、法人税を安くしたり、託児所をつくって働きやすい環境づくりなども必要だと思います。中学生の時、将来を考える時に起業する環境が少ないため、ICT化等にいち早く手を挙げていくことも必要だと思います。

町長：幼稚園の認定こども園化を進めるなど、子育て支援の魅力を高めていきます。起業家については古株牧場やバラ園、近江牛関係、山の上の果樹園など新たに仕事が生まれています。農業では米が難しく野菜も値段の不安定さがある。起業を促進し、町内で事業を起こしてもらおうにも農地転用ができない状況にあり、それも含めて10年間でやっていけないといけないと考えています。

委員：若井農園の米も食味コンクールで金賞をとっています。海外の販路開拓も必要です。

町長：道の駅でも精米した米を買う人が多い。インターネットによるPR・販売もやっています。混合された米はまずくなってしまうが竜王町の米はおいしいということで販路開拓も必要だと思います。

委員：ホームセンターもネットでほとんど売っています。店がなくてもクラウド上で販売することもできます。そういったインフラ整備を行政に頑張ってほしいと思います。

事務局：コロナで通販の伸びも大きいと認識しています。意見、アドバイスをいただきましたが、このあと将来像についてグループワークに移ります。席の移動をお願いします。

4 グループワーク

《将来像の検討に関するグループワークの実施》

5 その他

事務局：次回は11月16日となります。本日はありがとうございました。

6 閉会

副会長：活発な議論をありがとうございました。総合計画はまちをよりよくしていくために
つくるものですので、同じベクトルを向いていると思います。一緒に作っていきま
しょう。

総務主監：長時間、お疲れさまでした。貴重なご意見をありがとうございます。家族を思いや
ることなど、キーワードをいただきました。忙しい中、ご負担をおかけしますが引
き続きよろしくお願いします。